

『小さな物語』 寸評

- ・ 何度もことばをくりかえす昔話のようすが伝わってきます
- ・ でも課題の旋律にすこしとらわれちゃったかな
- ・ 音楽がふくらもうとするのを課題のリズム ♩ ♪ に引きとめられてるかんじ
- ・ ホルンが休みなく吹きっぱなしでとりとめもなくきこえます
- ・ m.9からのピアノとオーボエの対話は工夫されてある

完成度をさらに上げるために

- ・ メロディづくりでは演奏しない休符も大切な要素です
- ・ 長く音をのばしたりシンコペーションをとりいれたり
気軽で自由な模索、あそびのつもりでやってみよう
- ・ ベースは音楽全体の表情に貢献するので、ちょっとした工夫で大きな効果が得られる
- ・ またベースがつねに主音の和音配置ではきいてすぐにあきてしまう
- ・ 主音以外の構成音を利用する、順次進行で和声外音を「歩いてみる」等、工夫してみよう
- ・ どの小節も強拍（第一・三拍）に充実した三和音を配置する
- ・ 特に第三音だけ抜けた空虚五度は好まれない (ex. m.3 b.1, m.8 b.1, m.9 b.3, m.11 b.1, b.3)
- ・ しばしばメロディとピアノの分散和音がぶつかっているので、楽譜をうめるまえに研究しよう (ex. m.4 b.2, m.5 b.1, m.11 b.1, m.13 b.2-3)

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

自分の書いた音をていねいに
検討しよう。

持麿 勉